

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年9月6日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年8月21日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マレーシア科学大学(日本語名) Universiti Sains Malaysia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	マレー語/英語
留学期間	2023年10月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～2 月下旬 2 学期: 3 月中旬～8 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 10,000 人
創立年	1969

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (リンギット)	日本円	備考
授業料	-	-円	大学間協定留学のため、明治大学の授業料のみ払った
宿舍費	8550	282,150 円	寮費 RM750(半年)+コンドミニアム代 RM7800(半年)
食費	11515	380,000 円	
図書費	300	10,000 円	教科書代等
学用品費	454	15,000 円	マイクロソフトの月額費用*10ヶ月分
携帯・インターネット費	1030	34,000 円	2回線契約していたため割高
現地交通費	2272	75,000 円	Grab Car とバス代(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	303	10,000 円	交流イベント参加費
被服費	606	20,000 円	
医療費	-	-円	海外旅行保険ですべてカバーしました
保険費	3827	126,300 円	形態: 海外旅行保険(1年間)
渡航旅費	6400	211,200 円	往復シンガポール航空を利用しました
ビザ申請費	400	13,200 円	
雑費		10,000 円	洗濯代など
その他	15151	500,000 円	旅行費
その他	-9100	-300,000 円	明治大学外国留学助成金
合計	42,000	1,387,000 円	1RM=33 円で、端数は切り捨ててます

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田国際空港 目的地: ペナン国際空港 経由地: シンガポール・チャンギ空港 復路 出発地: ペナン国際空港 目的地: 羽田空港 経由地: シンガポール・チャンギ空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポール航空 料金:117,420 円 復路 航空会社:シンガポール航空 料金:93,775 円 ∴合計:211,195 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Singapore Airlines) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: RESTU) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先から寮に入居するかの希望調査が来たので希望に回答しました。アパートの方は、iProperty か PropertyGuru でインターネット上で探してエージェントに Whatsapp で連絡し、契約まで結びつけるという形式です。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>私は半年間は寮に、半年間はコンドミニアムで生活していました。学生寮は、4ヶ月で RM705(2万円強)しかかからないため、費用を安く抑えたい人におすすめです。2人部屋で設備は最低限です。エアコンはありませんが天井にファンがついていて涼しいです。バス・トイレは共用で、シャワーは水しか出ません。寮には Premium Room と Normal Room の2種類がありますが壁と床の色、収納の違いがあるものの、共用部の設備は変わりません。全寮共通で、1F にカフェテリアがあります。私が住んでいた寮の下には3つのレストランと2つのカフェがあり、8時から夜の10時にかけて店が開いていました。寮には Wifi がありましたが最初の数日は使えなかったため Sim カードは買うことをおすすめします。</p> <p>一方コンドミニアムは、留学生4人(日本人3人、韓国人1人)で生活していました。家賃はひと月あたりRM3300(約12万円)で、設備は3LDK でバストイレは二つずつありました。部屋は 134 m²で、共用部分にジムとプールがありました。もう少し安いところもあるようですが、半年契約だと高い部屋しか空いていませんでした。</p>

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: ひばりクリニックペナン分院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 断水したときに現地の友人の家に泊まった)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

施錠は基本ですが、客引きにはついて行かない、チャック付きのズボンやかばんを着用するなど、盗難対策もおこなっていました。ペナン島は比較的安全なので、夜道を歩いていて犯罪に巻き込まれた事例は聞いたことがありませんが、対策は十分に行っていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

空港到着後すぐにSIMカードを購入しなかったため、最初の2日間は全くインターネットが使えませんでした。通信ができないと連絡することも、どこかに行くことも難しいので、空港に着いたらまずSIMカードを購入するか、日本でローミングの設定をしてきて通信手段を確保することをおすすめします。現地の通信会社はMaxis、Umobile、Celcomdigi、Tunetalkが主にありますが、Umobileが一番コスパがよく、通信が速いのでおすすめです。寮と学校の施設はWifiが使えますが、一部コンドミニアムにはWifiがないので要確認です。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Wiseに口座を開け、日本からWiseに送金することで、デビットカードから現金を入手していました。最初の諸経費の支払いには現金が必要なので、日本円を数万円持ってくるのもありかもしれません。クレジットカードのキャッシングだと、手数料が6~12%かかります。現地口座を開けているひとは留学生の中にはいませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

薬全般です。常備薬はもちろんですが、風邪薬、酔い止め、咳止め、解熱剤等、思いつくものはすべて持って行った方がいいです。病気になったとき、病院に行っても処方される薬が全く効かなかったり、種類が少なかったりします。あとは、コンタクトレンズは現地調達可能ですが合わないことも考えて持っていきべきです。また、就職活動をするしないに関わらず、スーツは持って行くこと安心です。セメスターの最後に行われるGraduation Nightではフォーマルな衣装を着用しなければならないこともあるので、持って行くことをおすすめします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(対面) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Bahasa Inggris		英語
科目設置学部・研究科	School of Language	
履修期間	1 学期間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン 1 時間、対面 2 時間(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 3 回	
担当教授		
授業内容	4 技能	
試験・課題等	4 技能それぞれ 25%ずつ、期末試験なし	
感想を自由記入	比較的簡単で、留学最初にとる授業としてよかったと思う。特に最初は英語が聞き取れないのでこういう授業で耳を慣らすといいと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
EKONOMI, KEUSAHAWANAN DAN BUDAYA		経済・起業・文化
科目設置学部・研究科	School of Social Science	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	完全オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回	
担当教授	YW CHIN	
授業内容	起業のための基礎知識を学ぶ授業	
試験・課題等	小テスト、プレゼン、レポート、グループ課題	
感想を自由記入	教授の英語が聞き取りやすく、内容があまり理解できなかった。課題の指示内容もかなりヘビーだった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
KAJIAN MALAYSIA	マレーシアについて
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Mahathiryahaya
授業内容	マレーシアの歴史、文化について学ぶ
試験・課題等	期末レポートのみ
感想を自由記入	授業があまりなく、20 ページ程度の期末レポートのみが課された。レポートを書くだけなので個人研究が主なので、自分でコツコツ進められる人におすすめです。留学生はほぼ全員とってました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
EKONOMI PERSEKITARAN DAN SUMBER ASLI	環境学および天然資源経済学
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面 2 時間、チュートリアル 1 時間(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 170 分が 1 回
担当教授	Rahyla
授業内容	毎回の授業で問題提起があり、それに基づいた講義が行われ、チュートリアルでグループごとに議論し、答えをレポートにまとめる
試験・課題等	毎回のチュートリアルのレポート(グループ/個人)、グループプロジェクト
感想を自由記入	かなりやりがいのある授業だった。グループメンバーともかかわる機会が多く、語学力の向上が見込めると思う。課題はかなりきつく、達成感がある。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PENGANTAR PENGURUSAN	経営学入門
科目設置学部・研究科	School of Management
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Azura
授業内容	経営学入門
試験・課題等	中間試験、期末試験
感想を自由記入	対面の授業が 1 回しかなく、特に何も学べなかった。テストはマークシートだが時間はギリギリ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PENGALAN ANALITIK DATA	データ分析学入門
科目設置学部・研究科	School of Management
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	CHEANG PECK YENG SHARON
授業内容	データ分析学入門
試験・課題等	グループ課題2つ、中間試験、期末試験
感想を自由記入	課題の一人当たりの分量が少ないのであまり苦ではなかった。期末試験がかなり難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BAHASA CINA	中国語
科目設置学部・研究科	School of Language
履修期間	1 学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Yan
授業内容	中国語 4 技能
試験・課題等	毎回の復習プリント、4 技能試験、期末試験
感想を自由記入	漢字練習の時間以外は有意義な時間だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
TRANSFORMASI EKONOMI DI ASIA TENGGARA	東南アジアにおける経済発展
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 170 分が 1 回
担当教授	CHEEHONG
授業内容	東南アジア史、現代の政治、経済の状況
試験・課題等	レポート2つ、15~20 ページの期末レポート、期末試験
感想を自由記入	期末レポートは自分の好きなテーマについて書けるので、個人研究が好きな人にはおすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
KIBOD 1	キーボード
科目設置学部・研究科	School of Art
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回
担当教授	Yumi Yoshioka
授業内容	キーボードの演奏、簡単な作曲
試験・課題等	毎回最初に小テスト、中間・期末試験(演奏)
感想を自由記入	ピアノを習っていた人には余裕だと思います。試験が意外と難しかったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	IELTSの勉強
	4月～7月	IELTSの勉強
	8月～9月	IELTSスコア取得
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	英会話練習
	4月～7月	留学先大学からの説明会
	8月～9月	ワクチン接種
	10月～12月	留学開始、1学期
留学/帰国年	1月～3月	1学期期末試験
	4月～7月	2学期
	8月～9月	2学期期末試験、帰国
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

【この留学先を選んだ理由】

マレーシアを選んだ理由は、多種多様な文化に触れることができると思ったからです。マレーシアにはマレー系、インド系、中華系の人々が住んでいて、食べ物も服装も宗教も違う人々がともに生活しているということに興味を持ちました。マレーシアの中で USM(Universiti Sains Malaysia)を選んだ理由は、留学体験記を読んで、イベントが多く、いろいろな国の留学生たちと交流ができると知ったからです。実際に、オリエンテーションウィーク、Tea Time、ICF、FUSE などと、様々な留学生向けのイベントがあったり、卒業式前後、National Holiday の前後はそれぞれイベントが行われていました。

【留学生生活全般について】

マレーシアでの生活はハプニング続きで、それが面白かったです。寮生活では、シャワーが水しか出なかったり、エアコンがなかったり、3 回ほど断水したり、食べ物はほとんど辛く、飲み物はほとんど甘い、一年中暑くて雨がよく降るので傘が必須、など、日本では考えられないような経験をたくさんしました。すべてが今となっては笑える経験です。また、韓国人、中国人、マレーシア人の友達が多くできて、一緒にご飯を食べたり、カラオケに行ったり、ボウリングをしたり、旅行に行ったりと、かなり充実した日々を送ることができました。時には互いの文化の違いから衝突することもあったけれど、お互いの文化を知り、理解することでより深い関係になることもできたりして、面白かったです。休みの日にペナン島の探索をするのが好きでした。友達の手も借りて、ペナン島の主要観光地はもちろん、すべての地域に行くことができました。

【旅行について】

私は留学期間中(1 年間)で 15 回ほど旅行に行きました。ほとんど一人旅でしたが得るものは多く、価値観が変わったといえます。マレーシア国内、タイ、ベトナム、ブルネイ、インドネシアに行き、一つ一つの旅がとても大切な思い出になりました。ゲストハウスに泊まったり、ドミトリーに泊まったりすることで同年代くらいの旅人に多く出会うことができました。また、彼らと話すことで英語も上達しますし、自分の考え方を考えるきっかけにもなり得ます。留学のメリットは様々なことに挑戦できることだと思うので、留学中どこかに旅行に行ってみることをおすすめします。

【留学を志す人へ】

私はみなさんに留学することを強くおすすめします。マレーシアでなくても、どこでも大丈夫です。とにかく、留学をすることで様々なことに挑戦できますし、自分の世界が広がります。留学で何か成果を出せるかどうかは本人次第ですが、留学に行こうと決めることですでに挑戦の第一歩は踏み出せます。私が唯一後悔したことは、GPA と IELTS のスコアが不十分だったことです。今、この留学報告書を見ている方は、GPA3.0 以上、IELTS6.0 以上を目指して勉強してみてください。留学先の選択肢がかなり広がりますし、希望する大学に留学できる確率がかなり上がると思います。後悔のないよう、頑張ってください。